

FD NEWS

～FDとは Faculty Development の略で、教員が授業内容・方法を改善させるために行う組織的な取り組みの総称です～

contents

page 1-4 ★H20前期授業満足度アンケート結果報告・アンケート活用方法等
page 6-7 ★第10回FD講演会開催報告

page 5 ★教育優秀職員表彰
page 8 ★刊行物案内・FD委員長からのコメント

★平成20年度 前期授業満足度アンケート 結果報告★

調査概要

調査のねらい

よりよい授業にするために…

- 学生の授業に対する満足度を知り、改善点・要望を把握します。
- 教員の授業に対する意識を調査します。
- 学生と教員の意識のギャップを確認します。

対象科目

平成20年度前期に学部授業を担当する専任教員および非常勤講師を対象とし、担当授業のうち、最も履修者が多い講義科目において実施しました。講義以外の科目（体育科目、リレー方式で開講されている科目、実験・実習・演習等）は除きました。

方法

- ・ マークシート用紙にて回答しました。
 - ・ 学生・教員ともほぼ同内容のアンケートを、同時に実施しました。
- 【学生用】
選択式質問21問、記述式質問1問
- 【教員用】
選択式質問16問、記述式質問1問

実施期間

平成20年6月23日(月)
～7月11日(金)

開講学部等別回答者数

開講学部等	対象者数	アンケート回収数	回収率
法学部	12,414	5,450	43.9%
経営学部	6,299	3,466	55.0%
経済学部	7,235	4,023	55.6%
理工学部	22,479	16,790	74.7%
農学部	5,275	3,971	75.3%
薬学部	2,881	2,634	91.4%
都市情報学部	3,085	1,635	53.0%
人間学部	3,282	2,399	73.1%
教職課程	1,145	946	82.6%
全学共通教育部門	4,820	3,507	72.8%
合計	68,915	44,821	65.0%

☆ポイント☆

前回の調査とほぼ同一の質問項目でアンケートを実施して、改善程度の把握ができるようにしたよ！

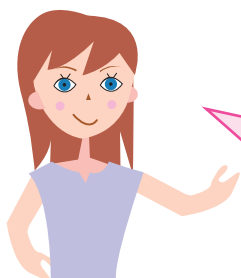
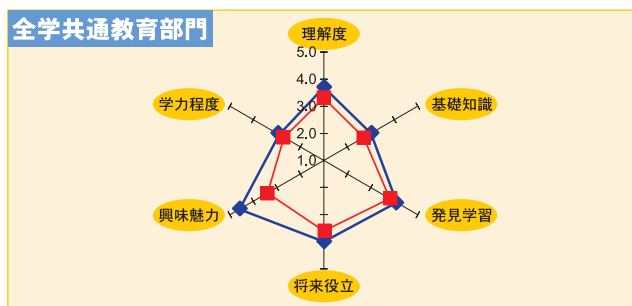
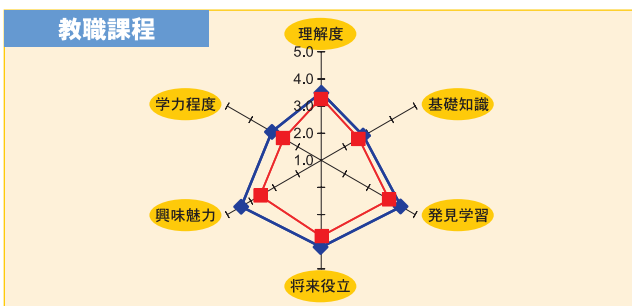
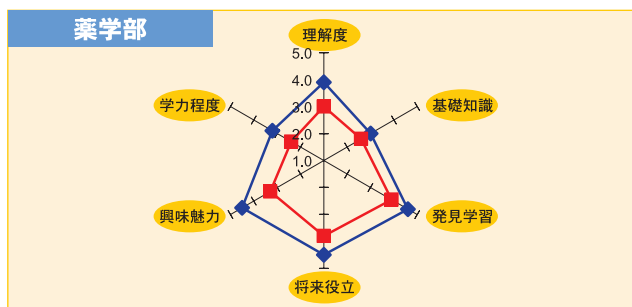
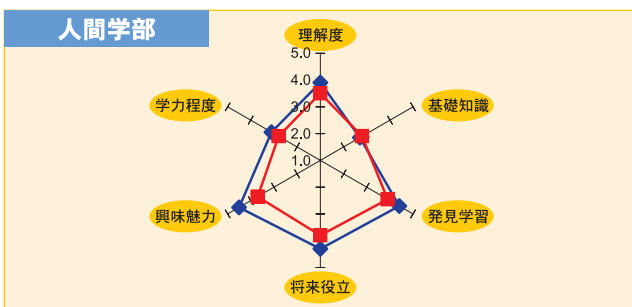
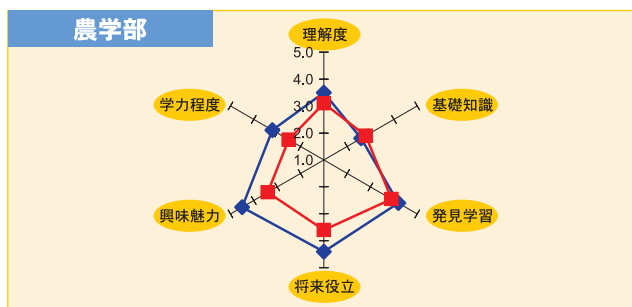
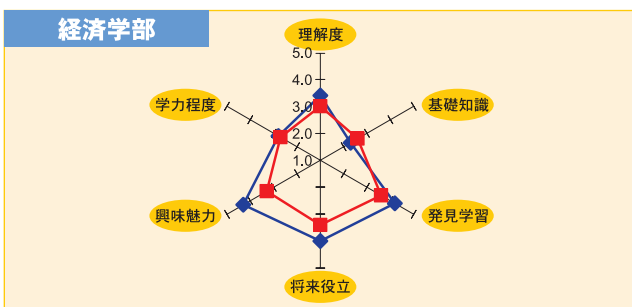
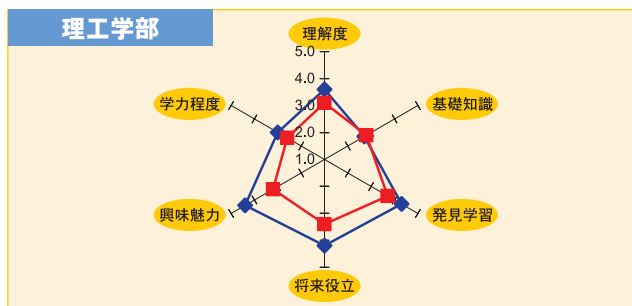
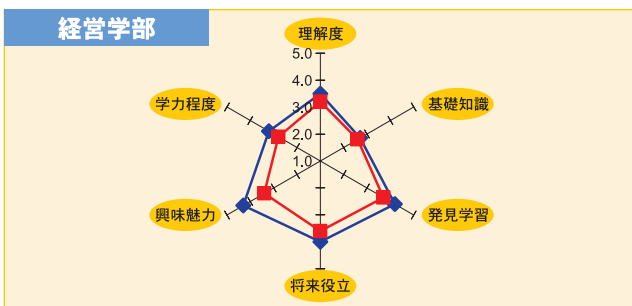
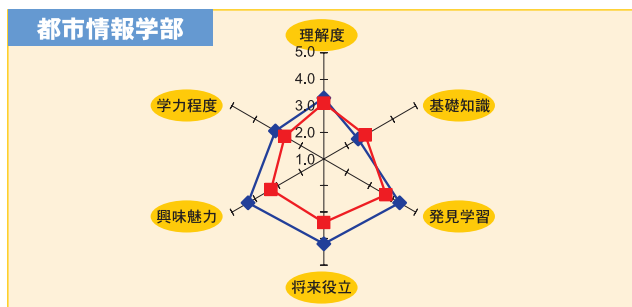
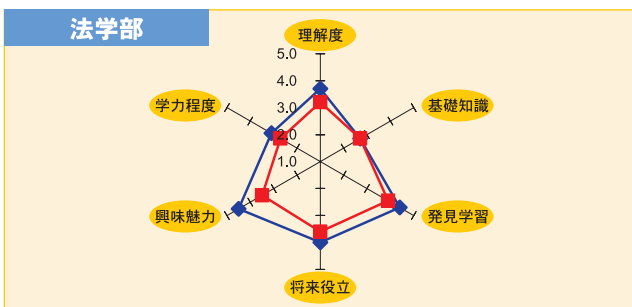


学生と教員の満足度の比較

—■— 学生 —◆— 教員

※選択肢の「強くそう思う」に5点、「全くそう思わない」に1点を与えた平均値を示しています。最大5.0、最小1.0

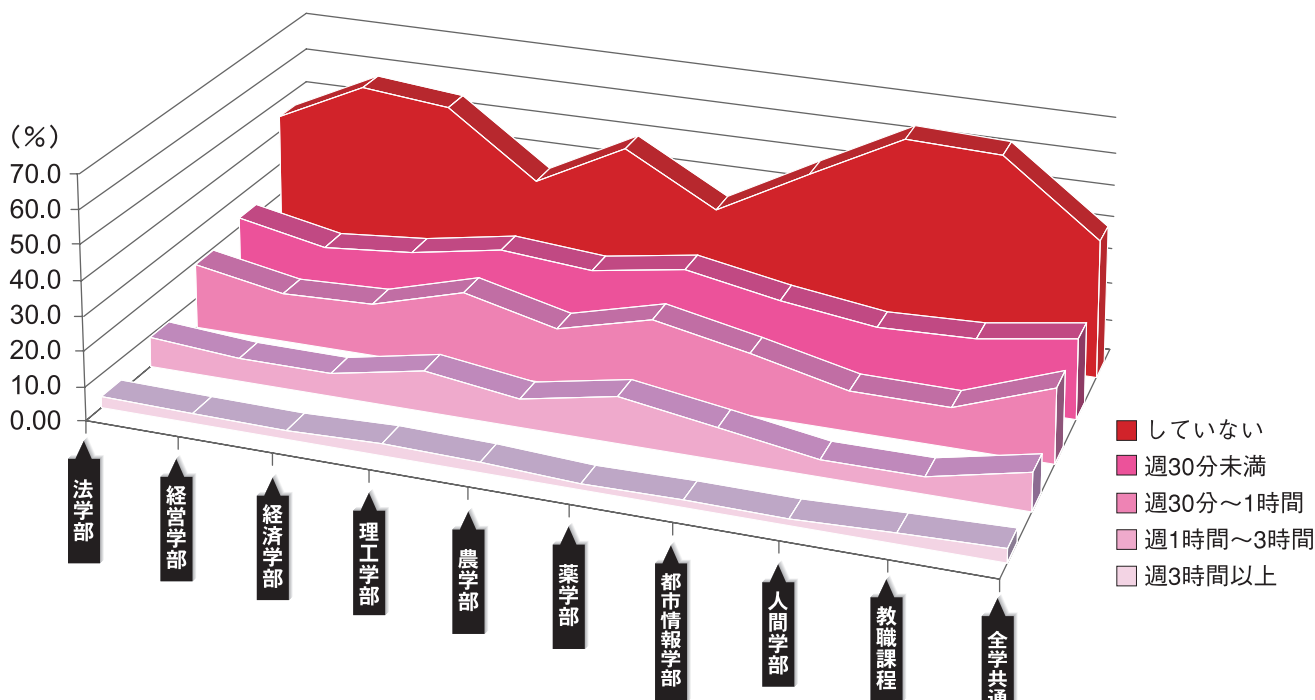
- ◆ 理解度：自分はこの授業が理解できている
- ◆ 学力程度：自分の学力はこの程度だと思いますか
- ◆ 興味魅力：この授業は内容が興味深く、魅力的である
- ◆ 基礎知識：自分には基礎的な知識が十分にあると思う
- ◆ 発見学習：この授業では新しいことを学べている
- ◆ 将来役立：この授業は将来役に立つと思いますか



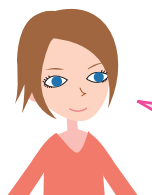
前回のアンケートとほとんど差のない結果となったよ。
学生と教員のギャップはなかなか埋まらないね。
どうしたらギャップを小さくすることができるのかな？

開講学部等別自習時間※の比較

※1授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)



自習時間はずいぶん少ないね。授業以外では勉強しなくてもいいのかな？



大学の授業科目における1単位あたりの学修時間は、大学での授業時間だけでなく、自学自習時間も合わせて計算されているんだよ(学生便覧P1-23参照)。つまり、授業以外の自学自習も必要なんだ。

知らなかった!!・・・先生は私たちが予習や復習をしていることを前提にして授業を行っているんだね。自習時間を見直すと、もっと大学の授業が楽しくなるかもしれないね。



自習だけでなく、**オフィスアワー**(先生が研究室等に在室している時間)を利用して先生に質問や相談をしてみるのもいいね!先生たちのオフィスアワーは授業計画書に記載されているよ。



学生にとってよい授業とは何か(自由記述)

学生のアンケート結果

1位 わかりやすい授業

2位 興味がひかれる授業

3位 私語がなく静かな授業

教員のアンケート結果

※教員のアンケート結果の数字は、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した教員の割合を表しています。

この授業の大切なポイントをきちんと示している……94.2%
 学生の理解度を確認しながらこの授業をすすめている……82.2%

この授業を興味深く、魅力的な内容にすることを心がけている……92.9%
 学生に興味をわくように工夫した進め方をしている……88.4%

私語に対し、きちんと対応している……82.9%

先生たちは、わかりやすい授業・学生の興味を引くような授業の工夫をしているようだね。授業中「私語がうるさい」と感じている友達もたくさんいるんだなあ……



授業満足度アンケートの活用方法 ～A先生の場合～

2008.6.26

授業満足度アンケート実施！
学生だけでなく私も回答するよ。
学生は私の授業をどう思っているのかな？



2008.7.9

アンケートの結果が返ってきたぞ！
「板書や資料の文字が読みにくい」と感じている学生が多いみたいだ。



2008.7.10

授業で黒板の文字を大きくしてみよう。



2008.11.6

アンケート結果をもとにいろいろ改善の工夫をしてみたけれど…本当に改善されたのかな？
そうだ！**マークカードを使ったアンケートを実施してみよう！**



2008.10

アンケートの調査結果報告書がきたぞ！分析結果によると…他の先生よりも私は「板書」のポイントがやっぱり低いんだな。改善しなくては！



2008.11.4

「第10回FD講演会」に参加して、「**授業満足度アンケート結果報告**」の講演を聞いた。全学的な傾向を知って、「板書」以外にも改善すべき点がいろいろ見えてきたぞ！



2008.11.7

アンケートの結果、少しは板書が改善されたようだ！
でも「ポイントがわかりにくい」という声が多いな…



2008.11.11

次年度のシラバスには、各授業におけるポイントを明記してわかりやすく改善しよう！授業内容もポイントがわかりやすいように考え直すぞ！



さらなる
授業改善へ！

「平成20年度 前期授業満足度アンケート 調査結果報告書」刊行!!

FD委員会では、2008年10月、「平成20年度前期授業満足度アンケート 調査結果報告書」を刊行いたしました。アンケートの詳細にわたる分析結果も記載されております。ぜひご覧ください。

なお、本報告書は各キャンパスの図書館、もしくは大学教育開発センター（天白キャンパス 本部棟 3階）にて閲覧することができます。

【内容】

- 学生満足度チーム座長コメント
- 調査実施資料
 - …調査概要と対象者属性等
- 授業科目の改善ポイント
 - …項目別・学部別改善ポイント等
- 学部別分析結果
 - …教員の自己評価と学生評価との比較
 - 授業満足度と相関の高い項目 等
- 設問別集計結果

平成20年度前期授業満足度アンケート
調査結果報告書

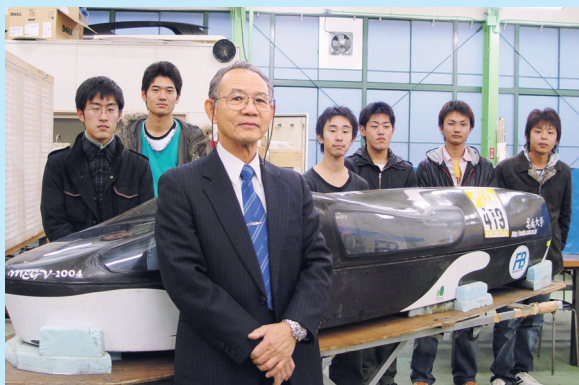
平成20年10月
名城大学 FD委員会

教育優秀職員表彰

本学では、教育に対する教員の意識を高めることを目的として、優れた教育成果をあげた教員を表彰する制度を設けています。平成17年度から始まったこの制度は、今年度で4回目を迎えました。今年度は教育優秀職員として2名が選出され、平成20年9月26日（金）に表彰式がとり行われました。



平成20年度 教育優秀職員表彰者



理工学部 村上 好生 准教授

【表彰理由】
低学年次から「もの」に触れさせて工学的興味を引き出すような授業を工夫したこと、また、「省エネカー」の学生活動を指導し、「省エネカー」競技でも優秀な成績を残したことが評価されました。これらの活動は、若者の「ものづくり離れ」を防ぐことに繋がると考えられます。

薬学部 小森 由美子 准教授

- 【表彰理由】**
- 1.PBL（問題に基づく学習）教育の導入に積極的に関わったこと、またその実施の努力が評価されました。PBL教育の導入によって、学生のコミュニケーション能力が向上したという報告もなされています。
 - 2.薬学部における感染症対策に力を尽くし、大規模な感染の流行を防いだことが評価されました。



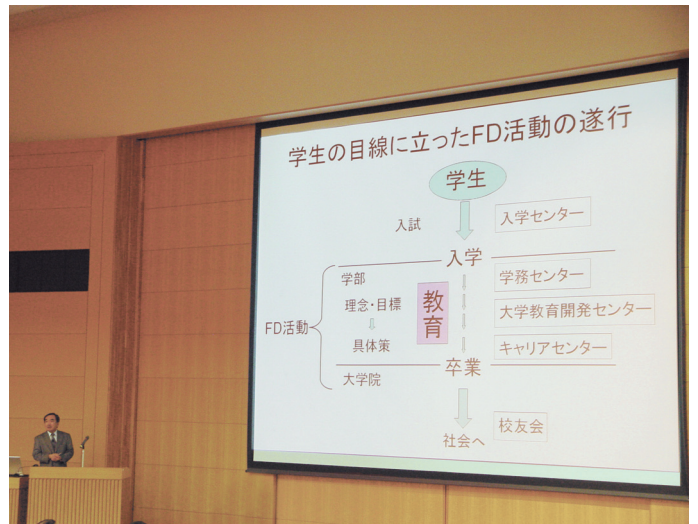
第10回 FD講演会

本学では、全学の先生、職員、学生が参加し、教育改善を図る相互研修の機会としてFD講演会を実施しています。その内容について報告します。

人材養成目的から見た学びの現状 — 今、我々は何をすべきか —

平成20年11月4日(火)、名城ホールにて、第10回FD講演会を開催しました。節目となる今回は、「人材養成目的から見た学びの現状 — 今、我々は何をすべきか —」をテーマとし、教職員、他大学関係者等283人が参加して行われました。

はじめに、池田輝政FD委員長が、何を学生に伝えるかという視点で、大学教育を語る場として、実りあるFD講演会にしたいと挨拶。原田健一FDワークショップチーム座長から、今回のプログラムは、各学部・センターで実践されている学生の学習意欲を高める様々な特色ある取り組みと改善方策の共有を目的に進めたいとの趣旨説明がありました。



第1部は、平成20年度前期に実施した授業満足度アンケートの分析結果について、成塚重弥学生満足度チーム座長から説明が行われました。

分析結果からは、教員の意識は高く、各自が授業改善のため非常に努力していること、自学自習の少なさは大学として大きな課題であること、そのなかで、自学自習時間が長く・満足度が高い授業も多くあることなどについて報告されました。

第2部は、「各学部等の現状と課題の共有—FDニーズの探索—」として、各学部等の教務委員長等から、学生の学びの現状と教員の教育実践の現状から、学部・センターの教育の質保証に向けた取り組みの理解共有をねらいとして、学部等で実施したワークショップの報告がありました。学生の学習意欲の向上を図る様々な授業工夫の実践例など、各学部・センターの教育の現状について、共通認識を持ち、今後の改善課題と方策を共有する機会となりました。





第3部は、「FDとしてのカリキュラムポリシー・ディプロマポリシー*の策定」をテーマに、愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室の佐藤浩章准教授を迎え、愛媛大学のFDの取り組みについて講演をいただきました。

愛媛大学は、読売新聞社が2008年に実施した「大学の実力教育力向上への取り組み」調査の西日本編において、FD取り組みのモデル第1位に選ばれています。愛媛大学で実施している授業方法の工夫を中心としたFDスキルアップ講座、各学部においてカリキュラム編成や教育効果の検証などの教育企画を推進するための教育コーディネーター研修、アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー*の策定の事例紹介、ファカルティディベロッパー養成講座など、愛媛大学の組織的教育改革の取り組みについて講演があり、その後フロアとの活発なディスカッションが行われました。

FD講演会終了に際して、下山学長から、学生の教育的付加価値を高める教育の実践を通じ、教員の喜びを感じてほしいとの講評がありました。

最後に、池田FD委員長から、FDの基本概念である「スカラーシップ」を問い直すことによって、教育と研究の専門職としての責任を果たすFDを展開したいとの話があり、1日にわたるFD講演会を終了しました。



参加者からは、FD活動の新たな動きを期待する感想が多く、今回の講演会は、今後の名城大学のFDのあり方を考える意義深い機会となりました。詳細は、大学教育開発センターから後日発行する「名城大学FD活動報告書」にて報告します。

平成20年度 第10回 FD講演会 プログラム

『人材養成目的から見た学びの現状 — 今、我々は何をすべきか — 』

- はじめに 開会挨拶 … FD委員長 池田輝政
趣旨説明 … FDワークショップチーム座長 原田健一
- 第1部 授業満足度アンケート結果報告 … 学生満足度チーム座長 成塚重弥
- 第2部 各学部等の現状と課題の共有—FDニーズの探索— … 各学部教務委員長等
法学部 横田直和教授 / 経営学部 岸川典昭教授 / 経済学部 渋井康弘教授
理工学部 平松美根男教授 / 農学部 丸山宏教授 / 薬学部 二改俊章教授
都市情報学部 手嶋正章教授 / 人間学部 宮嶋秀光教授 / センター合同 山本忠弘教授
- 第3部 FDとしてのカリキュラムポリシー・ディプロマポリシーの策定
… 愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 准教授 佐藤浩章氏
- おわりに 講評 … 学長 下山宏
閉会挨拶 … FD委員長 池田輝政

*アドミッションポリシー：大学・学部等が教育理念や特色等を踏まえ、どのような教育活動を行い、また、どのような能力や適性を有する学生を求めているかという考え方をまとめたもの。

カリキュラムポリシー：教育課程編成の方針。学生が社会で通用する力を身につけるために必要な学習指導や成績評価等の考え方をまとめたもの。

ディプロマポリシー：卒業認定、学位授与に関する基本方針。学位授与の前提として身につけておく能力等についての考え方をまとめたもの。

刊行物案内

●FD活動報告書



平成18年度（平成19年3月発行）

【内容】

- 1.これまでのFD、
これからのFDへの期待
- 2.FDチーム活動報告
- 3.FD委員会活動報告
- 4.学部別FD活動参加状況
- 5.資料
- 6.第8回FD講演会講演録

平成19年度（平成20年3月発行）

【内容】

- 1.平成19年度のFD活動を
振り返る
- 2.FDチーム活動報告
- 3.教育優秀職員表彰者紹介
- 4.FD委員会活動報告
- 5.資料
- 6.第9回FD講演会講演録

●教育年報



創刊号（平成19年3月発行）

【内容】

- 1.教育研究論文
- 2.教育実践報告
改善事例／提案事例／紹介事例／
分析事例
- 3.英語教育の取り組み
- 4.資料

第2号（平成20年3月発行）

【内容】

- 1.教育研究論文
- 2.教育実践報告
紹介事例／分析事例／提案事例
- 3.平成19年度教育優秀職員表彰者
による特別寄稿
- 4.資料

本学では、毎年、教育改善に関わる取り組みの成果を刊行物としてとりまとめています。

FD関連刊行物は、各キャンパスの図書館、もしくは大学教育開発センター（天白キャンパス本部棟3階）にて閲覧することができます。

※FD NEWSは、名城大学ホームページの大学教育開発センターのページ
（<http://www.meijo-u.ac.jp/edc/data.html>）でも公開しています。

平成21年度FDへの期待

このFD NEWSのなかで、学生が考える「よい授業とは」への一つの回答が紹介されている。それは、「わかりやすい」、「興味がひかれる」、「私語がなく静か」、という3つだ。この3つを満たす授業は名城にはどれだけあるのだろうか。私は今年の後期に300名規模の授業を担当した。結果は、「私語がなく静か」という授業づくりには失敗した。

その意味では、私の授業は Class of the Year にはほど遠い。が、それでもって授業自体が失敗であったとは考えたくない。なぜか？それは、「授業で何を学んだかを具体的に語ってくれる学生」を少なからず確認できたからだ。この感覚が授業を続ける原点ではないかとも思う。

いきなり我田引水で恐縮だが、来年度のFDのテーマとしては、「授業でこだわる教師の‘学び’メッセージ」も検討材料にしてもらえたらと願う。

FD委員会 委員長 池田 輝政